障がい者活躍推進計画の実施状況について

令和６年４月１日時点

評価年度	令和５年度						
機関名	会津若松市（市長部局）	会津若松市議会事務局	会津若松市教育委員会	会津若松市選挙管理委員会事務局	会津若松市監査事務局	会津若松市農業委員会事務局	会津若松市上下水道局
任命権者	会津若松市長	会津若松市議会議長	会津若松市教育委員会教育長	会津若松市選挙管理委員会委員長	会津若松市代表監査委員	会津若松市農業委員会委員長	会津若松市上下水道事業管理者
目標に対する達成度及び点検結果							
1.採用に関する目標	○令和５年６月１日時点 ○法定雇用率：2.6% ○目標値：2.6% ○実績値：2.90% ○障がい者採用枠として、任期の定めのない職員１名、会計年度任用職員（事務補助員）を４名採用し、目標を達成できており、適正な運用がなされている。						
2.定着に関する目標	○本人の意にかなわない離職を生じさせないことを目標としており、そのような離職はなかったことから、適正な運用がなされている。						
3.満足度、ワーク・エンゲージメントに関する目標	○令和５年度職員アンケート全体評価 ○目標値（令和４年度実績値）：57% ○実績値：68% ○職員アンケートの結果、前年度目標値を９ポイント上回り、目標を達成できたことから、適正な運用がなされている。						
取組内容の実施状況及び点検結果							
1.障がいのある職員の活躍を推進する体制整備	○障がい者雇用推進者として総務部長、教育部長、上下水道局長を選任した。 ○EAP サービスを導入し、庁外の臨床心理士等との相談体制を構築した。 ○庁内職員向けに障がい理解に向けた福祉研修を実施した。 ○以上の取組等により、適正な運用がなされている。						
2.障がいのある職員の活躍の基本となる職務の選定・創出	○所属長や会計年度任用職員（専門員）との面談を通して、障がい特性に応じた職務の選定が行われており、適正な運用がなされている。						
3.障がいのある職員の活躍を推進するための環境整備・人事管理	○大学卒程度試験において、障がい者特別枠を実施したが、採用には至らなかった。法定雇用率の引上げに対応するため、今後も正規職員採用試験において、障がい者特別枠を実施していく必要がある。 ○職員の希望に応じて、就労移行支援事業所と連携し、定着支援を行う等、環境整備に関する適正な運用がなされている。						
4.その他（地域における障がいのある人の活躍の場の拡大に関する取組）	○市が発注する公共工事において導入している総合評価方式の評価項目として、障がい者雇用に関する基準を設けている。 ○地域自立支援協議会や障がい者就労支援促進会議等と連携しながら、障がい理解に向けた啓発や障がい者雇用に関する各種優遇制度、相談窓口などを企業等へ周知した。また、障がいのある人の職場体験の成果の共有や受け入れ先の拡充等を行い、企業の障がい者雇用の理解促進に努めた。 ○一般企業で働く障がいのある方の職場定着を進めるために、就労支援事業所やハローワーク、障害者就業・生活支援センター等との連携を強化しながら、就労定着支援やジョブコーチなど、職場定着に関するサポート制度やサービスの利用を促進した。 ○引き続き、関係機関等と連携しながら、民間企業等の障がい者雇用の理解促進や障がいのある方の職場定着に向けた取組を実施していく必要がある。						